

令和元年度第2回砂防学会関西支部砂防オープンゼミ「砂防分野の模型実験」

1. 趣旨

砂防分野では、土石流や掃流砂等による山地河川での土砂移動について、メカニズムの解明と検証、理論的な定式化を目的として、多くの水理模型実験が行われてきました。また、具体的な構造物の設計や、土砂災害に関する住民へのわかりやすい説明ツールとしての実験も行われています。

砂防学会関西支部では、近年行われている砂防分野の模型実験について、幅広い知識と技術の普及と共有を目的として、事例紹介を行うとともに具体的な水理模型実験施設を用いた実験の見学を企画しました。

平素から水理模型実験を実施されている方だけでなく、砂防分野における水理模型実験に触れる機会が少ない技術者や今後実施を考えている皆様に広くお集まりいただければと思います。発表と見学を通じて情報を取得、交換していただくとともに、活発な議論を行う機会となれば幸いです。

2. 会場・開催日

会場：立命館びわこ・くさつキャンパス トリシア 1階 第一会議室
滋賀県草津市野路東 1丁目 1-1

開催日：2019年8月28日（水）

3. スケジュール

13:00～13:30 実験の説明

13:30～14:45 実験室での施設見学および実験見学

15:00～17:00 室内での発表（30分×4） ※演題は次項参照

17:30～懇親会

4. 連絡先

懇親会への参加を希望される方は8/20（火）までにお申込ください。

岡野和行（砂防学会関西支部）

アジア航測株式会社 西日本国土保全コンサルタント技術部河川砂防課
大阪市北区天満橋 1-8-30 OAP タワー29F

Tel：06-4801-2250

E-mail: kaz.okano@ajiko.co.jp

以上

令和元年度 第2回砂防オープンゼミ 時間割

月日	時間	行事	備考
8月28日 (水)	13:00 ～ 13:30	実験の説明	
	13:30 ～ 14:45	実験室での施設見学および実験見学	
		室内での発表 (30分×4)	
	15:00 ～ 17:00	<p>1) 「水理模型実験の概要」 立命館大学工学部 里深好文 教授</p> <p>2) 「合流点の河床上昇に着目した、赤谷川流域からの土砂流出が川原樋川の河床変動に及ぼす影響」 国土交通省国土技術政策総合研究所 (近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センター) 木下 篤彦 主任研究官</p> <p>3) 合流点における水理模型実験の解析方法と結果 アジア航測株式会社 岡野和行 課長</p> <p>4) 流木の形状と比重が山地河川における橋の閉塞に及ぼす影響 京都大学大学院農学研究科 中谷加奈 助教</p>	
	17:30～	懇親会	